

②福富溝口線

路線の概要

現在の計画

- 福富溝口線は、平成6年の市街化区域拡大に合わせて北東部市街地の東西方向の幹線街路として決定されました。
- 現在、福富迎田～溝口上を起終点とし、計画延長1,240m、標準幅員12mの幹線街路として都市計画決定しています。

整備状況

- 【福富迎田～岐関大橋西交差点】
 - 未改良で現道があります。
- 【岐関大橋西交差点～岐関大橋西側】
 - 改良済
- 【岐関大橋】
 - 未改良で現道があります。



見直しの理由・内容

路線の主な役割・機能

- 岐阜市北東部と関市を結ぶ東西方向の都市幹線街路として、まちづくりの骨格を形成する機能が求められています。

見直しの理由 変更

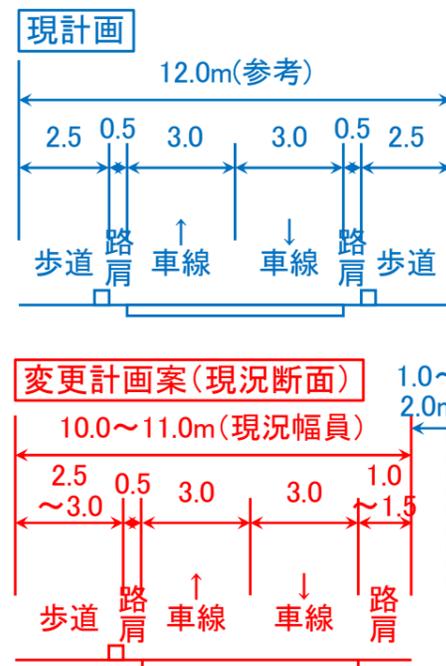
歩道機能の変化

- 2車線両側歩道で計画されていますが、市街化調整区域で沿道への住宅や施設等の立地の拡大は見込めないため、**現道の幅員2.5～3mの片側歩道でも対応可能**と考えられます。
- 現道は既に2車線の車道が確保されており、現道幅員に合わせて**2車線片側歩道に変更**しても、東西方向の幹線街路としての機能を果たしていると考えられます。
- 区間東側の岐関大橋は既に片側歩道で整備されているため、**道路の連続性を考慮すると、当区間も片側歩道で十分だ**と考えられます。

既存ストックの有効活用

- 区間東側の岐関大橋が既に2車線片側歩道で整備されており、**既設橋が有効活用できると**考えられます。

道路断面図(参考)



- 現道は2車線で、片側歩道となっています。

都市計画変更(案)の内容

【3・5・95 福富溝口線】

- 福富迎田交差点から岐関大橋西交差点までの延長約810mと、岐関大橋の延長約200mの区間は、計画幅員12m・2車線から現況幅員の10～11m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小)」と考えます。

都市計画変更(案)平面図



現地の状況写真



①



②

